

## 平成29年度経営講演会



藤井経営委員長開会挨拶



講演始まる

「モーレツ社員」と呼ばれることが賞賛された時代は過去のものとなり、「ワークライフバランス」を大切にしたい働き方が求められるなど働き方に対する価値観が大きく変化する中であっても、長時間労働に起因すると考えられる痛ましい事件が後を絶たず、大きな社会問題となっています。

そのような状況をうけて、国をはじめ様々な団体などにおいて、働き方改革の推進を喫緊の課題として、各種の取り組みが進められており、会員企業にとっても、従業員の雇用の改善、人材の確保、魅力ある職場づくりを推進していく上で重要な経営課題としてこの推進に取り組んでいく必要があります。

そこで、働き方改革の基本的な事項を学び、あらためてこの問題を考えていくきっかけとなるよう、11月29日、兵庫県中央労働センターを会場に、兵庫労働局雇用環境・均等部企画課長中尾龍美氏、兵庫労働局労働基準部監督課長片岡圭介氏、近畿経済産業局産業部中小企業課総括係長二目真次氏の3氏を講師に迎え、「働き方改革を学ぶ」をテーマに平成29年度の経営講演会を開催し、会員企業から経営者や幹部職員など34名の参加がありました。

講演は、①働き方改革が求められている背景と推進における課題、②「過労死等ゼロ」緊急対策と過重労働の防止に向けて企業が取り組まなければならない事項③働き方改革に企業が取り組む際に活用できる厚生労働省（兵庫労働局）や経済産業省（近畿経済産業局）の助成制度などを柱に進められ、働き方改革に関する基本的な知識から、会員企業が活用できる助成金まで、総合的、体系的に学ぶ機会となりました。



3名の講師の方々



講演後の質疑応答